

病院見学随時受付中

見学申し込み・問い合わせは、ホームページまたは
下記の連絡先から

千葉県病院局経営管理課 臨床研修担当



Tel. 043-223-3969

byoukei3@mz.pref.chiba.lg.jp

<https://www.pref.chiba.lg.jp/byouin/rinsho/index.html>

千葉県立病院群



令和6年度 千葉県立病院群 Chiba prefectural hospitals

臨床研修ガイド

基幹型病院 | 千葉県がんセンター |

協力型病院 (県立) | 千葉県救急医療センター | 千葉県精神科医療センター | 千葉県こども病院 | 千葉県循環器病センター |
千葉県立佐原病院 | 千葉県千葉リハビリテーションセンター |

令和2年10月26日

千葉県がんセンター

新病院
開院

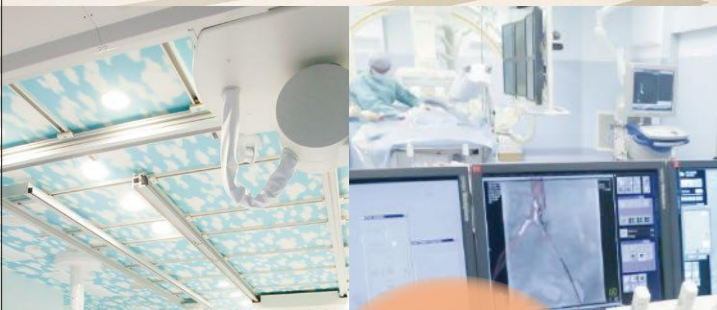


千葉県マスコットキャラクター
チーバくん



千葉県立病院群の初期研修なら、全部できる！

高度専門医療 | プライマリ・ケア | 離島研修 | 救急医療 |



地域病院から
専門病院まで
幅広くローテート

初期研修から
常勤医採用までの
キャリアパス

一人一人の
希望に応える
自由度の高い
プログラム

いわゆる初期研修は、医師となったみなさんが初めて研鑽を積む場であり、ここでは医師としての資質の向上と人格の醸成が求められています。現在、研修医を募集する臨床研修病院・大学院は、全国で1,000を超えており、大変多くの選択肢があります。

その中で千葉県立病院群臨床研修の特色は、6つの専門病院と1つの地域中核病院を中心とした病院群による研修プログラムにあります。がんセンター等の専門病院では、それぞれの分野のプロフェッショナルが最先端医療を提供しており、地域中核病院では、訪問看護ステーションを併設し、地域に根差した医療を行っています。このため、千葉県立病院群臨床研修プログラムは、医師のキャリアの早期に、専門性の高い最先端医療提供の場に身を置いてみたい方、病院群の各病院を回る中で、自発的に学び取っていく研修をしたい方に、より適していると言えます。

千葉県では、平成16年の新医師臨床研修制度の開始と同時に、千葉県立病院群として初期臨床研修医の受入を開始し、令和5年度までに227名の医師を全国各地から受け入れてきました。専門病院を中核とする千葉県立病院群の7病院は、全体で病床数1,479床、職員は医師350人以上、看護師1,600人以上からなる総職員2,600人余りの全国でも有数の医療機関となります。初期研修修了後は、専門医取得のため引き続きレジデント医として後期研修に進むことができます。さらに専門医取得後は県立病院の正規職員として勤務できる道も用意されています。

医師としての基盤形成の時期に、専門的な先端医療や地域に密着した医療などの、多様な経験を積むことにより、スキルを磨くだけでなく、医療の社会的重要性や公共性を意識できる医師として活躍していただけることを期待しています。

研修管理委員長 千葉県病院局長

山崎 晋一郎



プライマリ・ケアから高度先端医療まで、幅広く経験できる研修システム

千葉県では、高度専門病院と地域中核病院で構成される県立7病院を中心に、県内の中核病院なども連携して研修を行います。

各病院の特色ある症例や最新設備、各専門分野の指導医による教育を有効かつ柔軟に結合することにより、本人の意向を反映させて研修が可能です。

指導医からのメッセージ

我々のプログラムの特徴は、地域中核病院と専門病院群をローテーションすることにあります。

臨床研修の2年間は長いようで短く、その中で学べることは限られます。その中で、患者さんのニーズを知ることは、自分の医師としての将来像を考える上で重要になります。地域病院でプライマリ・ケアの基礎を学び、専門病院では数多くの症例を実際に診察できます。地方の病院と都市の病院では、患者さんのニーズが異なります。一般病院と専門病院でも異なります。

学生時代とは違って、多くの病院で働くことにより、地域や患者背景によるニーズの違いを発見することができます。

多くの病院を経験することで、自分の目指す医師像を発見できるでしょう。

千葉県立病院群は、あなたの方のキャリアパスまでを考えています。多くの先輩が、常勤医までの道筋をたどっています。千葉県では、医師確保のために待遇改善にも努めています。是非ともご応募ください。



プログラム委員会 委員長

千葉県がんセンター
診療部長

高野 英行



プログラム責任者

千葉県がんセンター
腫瘍・血液内科部長

武内 正博

千葉県立病院群の臨床研修プログラムは、特徴の異なる複数の施設で研修を行えることが大きな強みです。選択肢が多く比較的自由度も高いことから、皆さんの思い描く将来像に近いロールモデルとなる先輩、指導医に巡り合えると思います。

一方で、選択肢が多い分どのような研修を行えば良いか迷ってしまうこともあるかもしれませんが、そのような時は先輩や我々研修プログラムのスタッフに遠慮なく相談してください。皆さんにとってより良い研修になるように尽力します。皆さんのご応募をお待ちしています。

Message

現役研修医・修了生からのメッセージ



(臨床研修医) 藤里 雅史

このプログラムは千葉県の病院を複数ローテートできるのが特徴です。地域中核病院と高度専門病院のローテーション研修により、幅広い臨床経験を積むことができます。また地域医療研修では希望があれば北海道の礼文島や松前での研修を選ぶこともできます。どの病院・診療科も指導医の手厚いサポートがあり、安心して診療に挑戦することができます。研修医の出身・経歴・志望科は様々で多様性に富んでいます。研修医同士で日々助け合いながら切磋琢磨しています。

福利厚生も充実しています。千葉市内に家賃負担のない宿舎が用意されており、一部の地域中核病院での研修の際には別途宿舎が用意されます。土日は原則休みなで自分の時間を過ごすことができます。肝心の給与ですが、県内の他の病院と比べても遜色ありません。

特定の診療科については3年目以降もそのまま県立病院群レジデント医として残ることもできるので、将来の進路が決まっている方にもおすすめです。

興味のある方は是非見学にいらしてください。



(正規医師 / 修了生) 田久保 隆介

私がこのプログラムを選んだきっかけは様々な高度専門病院での研修と一般的な市中病院での研修を自分でどちらも選択できる点に惹かれたからです。後期研修に対するビジョンが明確

でなかったため、広く色々な病院、専門科を回り将来の専攻を考えられる初期研修は正にうってつけでした。このプログラムのように多くの病院を跨いでの研修ができるものは、全国を探してもなかなかありません。もちろん、多くの病院を回ることでその環境の違いに戸惑うこともありメリットばかりではありませんが、病院毎の特色に適応する柔軟性を養える点や色々な先生方の考え方を学べたことは、今後の医療人生にとって間違いなく大きな財産になると思います。

私はこの研修で精神科救急という専攻科を回り素晴らしい指導医の先生方先輩方と出会い、一緒に働いていきたいと後期研修もここでお世話になることを決めました。将来自分が目指したい専攻が決まっている方もそうでない方も、どなたにとっても満足できる2年間が過ごせると思います。興味を持った人はぜひ一度見学にいらしてください。

千葉県立病院群の構成

がん専門病院である千葉県がんセンターを基幹型病院とし、他の県立6病院（千葉県救急医療センター、千葉県精神科医療センター、千葉県こども病院、千葉県循環器病センター、千葉県立佐原病院、千葉県千葉リハビリテーションセンター）及び千葉東病院、ジェイコー千葉病院など12の協力型病院、保健所や地域病院など8の協力施設により、構成しています。



礼文島から望む利尻岳

協力病院
多数!

- 千葉東病院
- ジェイコー千葉病院
- 千葉メディカルセンター
- 礼文島船泊診療所(北海道)等



研修プログラムの特色

One

研修期間は2年間です。地域医療の中核あるいは高度先進医療を取り入れた専門領域を担う病院をローテートし、プライマリ・ケア、高度専門医療を調和的に織り交ぜたプログラムにより、多彩な症例を経験するとともに、確かな知識と技術を身に付けることができます。

Two

ローテーションにより、各病院の特性に合ったスタッフとの共同作業や、特性に応じて集まってくる様々な患者さんとのコミュニケーションを経験することができます。

Three

地域医療研修の一環として、離島・へき地研修（北海道礼文町国保船泊診療所・北海道松前町立松前病院）も選択することができます。

初期研修プログラム 概要

- (1) 内科24週、外科8週、小児科4週、産婦人科8週、精神科4週、救急部門12週、地域医療4週、一般外来4週（内科・外科・地域医療研修にて並行研修として行う）は必ず研修すること（必修科目）
- (2) がんセンターでは2年間で1年以上研修すること（他施設での地域医療研修について12週まで算入可）
- (3) 選択科は最短4週を1ブロックとし、別表1から選択すること
- (4) 1年目のローテーションについては採用内定後、採用予定者に対し研修先病院の希望を聴取する
- (5) 2年目のローテーションについては1年目の研修中に研修医自らの手でローテーションを組み立て、指導医から承認を得たのち決定する

別表1

- | | | |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1) 内科 | 13) 放射線科（放射線治療） | 25) 循環器内科 |
| 2) 救急部門 | 14) 消化器外科 | 26) 血液内科 |
| 3) 地域医療 | 15) 乳腺外科 | 27) 神経内科 |
| 4) 外科 | 16) 呼吸器外科 | 28) 腎臓内科・透析科 |
| 5) 麻酔科 | 17) 整形外科 | 29) 内分泌・代謝 |
| 6) 小児科 | 18) 脳神経外科 | 30) アレルギー・自己免疫疾患 |
| 7) 産婦人科 | 19) 循環器外科 | 31) 感染症 |
| 8) 精神科 | 20) 泌尿器科 | 32) 臨床病理部 |
| 9) 緩和医療科 | 21) 耳鼻科/頭頸科 | 33) 遺伝子診断部 |
| 10) リハビリテーション科 | 22) 小児外科 | 34) 精神腫瘍科 |
| 11) 保健・医療行政 | 23) 消化器内科 | 35) 形成外科 |
| 12) 放射線科（画像診断） | 24) 呼吸器内科 | |

| 1年目 スケジュール | 内科 | 外科 | 救急 | |
|---------------|------------|---------------------------------|-------------------|-----------------------------|
| | (8週) がん | 下記のいずれか(16週) 循環/佐原/千葉東/ジェイコー | (4週) がん | (4週) 循環/ 佐原 |
| | | | (4週) がん 麻酔科 | (4週) 循環/ 佐原 (一般救急) |

※右の中より8週を選択する。【精神科[4週]・小児科[4週]・産婦人科(がん婦人科)[4週]・救急[4週]・選択科(がんのみ)】

| 2年目 スケジュール | 産婦人科 | 地域医療 | 選択科 |
|---------------|------------|---|--|
| ※ | (4週) 産科 | (4週) 佐原、船泊、松前、いすみ、 鎌田、香取おみがわのい ずれか | (32週) ◆ 2年間でがんセンターでの研修期間(他施設での 地域医療研修を含む)が1年以上となるように選択 |

※1年次に精神科・小児科・産婦人科(がん婦人科)・救急を履修しなかった臨床研修医は、2年次にそれぞれ履修する。

2年目の選択例①（様々な病院・診療科で研修を受けたいケース）

| | | | | | | | | | | | |
|---------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-------------------|--------------------|--------------|--------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 産婦人科 (さんむ) | 麻酔科 (がん) | 救急 (救急C) | 精神科 (精神C) | 小児科 (こども) | 肝胆膵 外科 (がん) | 腫瘍血液 内科 (がん) | 地域医療 (船泊) | 地域医療 (佐原) | 画像 診断部 (がん) | 循環器 内科 (循環) | 消化器 内科 (がん) |
|---------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-------------------|--------------------|--------------|--------------|-------------------|-------------------|-------------------|

2年目の選択例②（特定の病院・診療科で集中的に研修を受けたいケース）

| | | | | | |
|--------------|---------------|--------------|----------------|-------------|---------------|
| 地域医療 (佐原) | 画像診断部 (がん) | 産婦人科 (がん) | 産婦人科 (船橋中央) | 救急 (救急C) | 画像診断部 (がん) |
|--------------|---------------|--------------|----------------|-------------|---------------|



基幹型病院 研修内容

がんセンター

Chiba Cancer Center

病床数 450床



がんセンター 研修内容

千葉県がんセンターは、千葉県のがんの治療体制の整備等総合的ながん対策の実施の役割を果たすため、1972年にわが国3番目のがんセンターとして開設され、県内のがん医療技術の研修、がん医療情報の収集分析、がん患者の実態把握などに積極的に取り組んできました。「心と体にやさしく、希望の持てるがん医療」の基本理念の下に、令和2年10月に新病院を開院いたしました。

診療部門では、都道府県がん診療拠点病院であり、臓器別診療を行い、がんゲノム医療連携病院として、遺伝子診断、治療を行える体制を取っています。

新薬の特許取得、治験等を積極的に行い、治癒率の向上を目指しています。臨床研究を含めた最先端のがん医療を取り入れながら、治療選択肢の幅を広げ、テラーメイドのがん医療が提供できるように病院全体で取り組んでいます。

内科

Internal medicine



呼吸器内科

複雑化してきた分子標的薬、免疫療法、殺細胞性抗癌剤の使い分けや、組織診断・病理診断に重要な超音波気管支鏡を経験豊富な医師により研修することができます。又、治療決定に関しては呼吸器外科医、放射線科医、脳外科医とカンファレンスを行っています。各科の意見を直接聞く事は充実した研修となるでしょう。

消化器内科

消化器癌を中心とした診断・治療を研修しながら良性疾病や救急疾患も診療し内科全般にわたる研修を行います。消化器疾患は対象臓器が多く、検査・治療は多岐にわたっていますがそれぞれの分野で専門的に研究・診療している専門医が複数常動していますので質・量ともに十分な研修が可能です。外科、画像診断部、臨床病理部とのカンファレンスを定期的に行っているため内科以外の幅広い知識も習得できます。

腫瘍・血液内科

悪性リンパ腫、白血病、骨髄腫、等の患者さんの入院主治医として直接診療に従事しながら、各疾患の診断・治療についての理解を深めるとともに、内科医として必要な経験を積むことを目標とします。化学療法で用いる抗癌剤の特徴・使用法を理解して、実際の処方や点滴を行います。骨髄抑制などの副作用・合併症に対する適切な支持療法を習得します。

外科

Surgery



肝胆膵外科

肝胆膵の悪性疾患を中心に外科治療を行っています。肝胆膵外科は高難度の手術も多く、そうした専門性の高い手術への参加の他、診断から周術期管理まで幅広い知識を習得できる機会を提供します。また、画像診断や病理診断についても他科とのカンファレンスなどを通して、総合的なスキルの向上を目指した研修を行っています。

食道・胃腸外科

消化管領域の悪性腫瘍の手術を、ロボット支援下手術、腹腔鏡手術を含め、幅広く学ぶことが出来ます。カンサーボードや朝の症例カンファレンスのプレゼンテーションなどの学習機会もあり、診断と周術期管理についても学んでいただけます。また、手技として採血（動脈血を含む）や糸の結紮はもちろんのこと、中心静脈カテーテル留置なども学ぶ機会があります。

乳腺外科

乳腺外科では、形成外科、腫瘍血液内科および遺伝子診療科の4科で乳腺センターとして包括的乳癌診療を行っています。診断、乳房再建を含む手術、薬物療法（術前・術後化学療法、再発治療）、遺伝性疾患など乳癌診療の全てを経験し学ぶことができます。また、治験などの承認薬を用いた臨床試験にも接することができます。

麻酔科

麻酔科領域では、2015年度から、日本専門医研修医制度評価認定機構によって、新たに専門医研修制度が始まりました。千葉県がんセンターは、基幹研修施設として申請しております。千葉がんセンターは、基幹研修施設である千葉大学と連携を保ちつつ、専門性の高い、病院群各施設の特徴を生かした研修を通して、専門医認定に薦められる研修内容に沿って、専門医資格取得まで、責任をもって指導いたします。

整形外科

当科では骨・軟部組織にできる腫瘍を治療しています。骨・軟部悪性腫瘍は「希少がん」であり、高い専門性が要求されやりがいのある領域です。他の整形外科では経験できない、抗がん剤治療や骨盤骨腫瘍の手術などを学ぶことができます。また、がんの骨転移や「がん口コモ」についても学ぶことができます。オンリーワンの一味違う整形外科医を目指してみませんか。皆さんの当科での研修をお待ちしています。

婦人科

本研修プログラムでは婦人科研修をがんセンターで1か月間、産科研修を協力病院（千葉市立海浜病院、千葉メディカルセンター、さんむ医療センター、成田赤十字病院）で1か月間行っています。産婦人科研修の四本の柱（周産期、腫瘍、生殖、女性のヘルス）は、本研修プログラムを選択することでカバーされることになります。

緩和医療科

緩和医療科では緩和ケア病棟での研修だけでなく、希望者には緩和ケアチームや緩和ケア外来の見学も行っています。研修によりがん性疼痛などの症状マネジメントに理解を深めるだけでなく、終末期患者とのコミュニケーションや在宅医療との連携などについても学ぶことができます。

遺伝子診断部

遺伝子診断部はがんゲノム医療を担当しており、次世代シーケンスによる遺伝子パネル検査やメチル化解析などを学び、ゲノム情報解析やPCR検査を経験します。また、遺伝性腫瘍研修施設に認定されており、外来では遺伝性のがん家系を対象とした家系図作成、遺伝形式の推定や遺伝学的検査の解釈、予防医療の提案、遺伝カウンセリングなどを経験できます。

呼吸器外科

肺癌・転移性肺腫瘍・縦隔悪性腫瘍を主とした外科治療を行っています。①気管支鏡による診断技術の体験、②カンファレンスにおける症例提示、③週5〜6例の手術への参加、④定型的・特殊な周術期管理の経験、⑤抄読会の参加などを通して、呼吸器・縦隔疾患一般の基本的病態の知識、診断検査、さらに外科治療の対象となる呼吸器疾患（縦隔、胸壁疾患を含む）の治療法、および手術と周術期管理についてその理論と実技を習得することを目標に研修を実施しています。

脳神経外科

神経候を機能画像と結びつけることで、難しい神経機能評価もよりわかりやすく学ぶことができます。そのノウハウを是非学びに来て下さい。研修医にも積極的に手術に参加してもらいます。実際にメスを持ち、ナビゲーション手術を駆使した低侵襲手術を体験する中で、サイエンスを実臨床に結びつけることの大切さも学んで下さい。

頭頸科

頭頸科は甲状腺癌や口腔癌を含む頭頸部原発の悪性腫瘍を主に取り扱っております。医師は4名で全員が耳鼻咽喉科専門医を取得しています。臨床研修内容は耳鼻咽喉科領域の診察の基礎（内視鏡検査や超音波検査など）、各種画像診断、手術などです。手術ははじめは助手で参加していただき、一般的な外科手技をある程度習得している先生には皮膚縫合を中心に手術を行っていただきます。症例によっては気管切開術などを術者として行っていただくこともあります。

泌尿器科

県内初の手術支援ロボット導入施設で全国でも有数の前立腺癌手術件数があり、多くの泌尿器腫瘍疾患を経験できます。週3回のカンファレンスがあり若手医師が多く在籍しているのも特徴で、切磋琢磨しながら診療に取り組んでいます。泌尿器疾患は高齢者に多いため、内科的な全身管理の知識も習得できます。泌尿器科は研修医時代に習得できる手技も多く（腰椎麻酔など）、充実した研修が出来ると思います。

放射線科 [画像診断部、放射線治療部]

画像診断部では主として症例集を用いて、画像解剖・疾患の鑑別を学んでいただけます。また、造影検査の担当を通じて静脈確保等手技の習得も可能です。放射線治療診療については治療計画、患者診察などが研修可能です。

臨床病理部

臨床病理部では、手術例の病理診断書を自分で作製する経験をしていただけます。各種免疫染色に加え、希望があれば、FISH法、PCR法など病理診断に必要な遺伝子検査も学べます。解剖の際は、病理医と共に執刀します。毎日行われている臨床各科とのカンファレンスに出席し、臨床の現場で病理診断に何が求められているかも学びます。

Chiba Emergency Medical Center

救急医療センター

病床数 1100床



千葉県救急医療センターは全県から重症救急患者が搬送される単独型高度救命救急センター・災害拠点病院です。循環器内科・心臓血管外科、脳神経外科・内科、外科・整形外科・形成外科、麻酔科・集中治療科、精神科医師が救急医療に特化して従事しています。虚血性心疾患、急性心不全、不整脈、大動脈疾患、脳卒中、急性腹症、重症頭部外傷、多発外傷、指肢切断、重症熱傷、急性中毒、多臓器

不全、低体温、重症熱中症など一般病院で対応困難な救急患者が対象です。1か月の必修研修に加え希望に応じ長期研修も歓迎します。研修中は集中治療科に属したうえで、病院全体で研修を支えます。救急集中治療での手技やカンファレンスでのプレゼンテーションも、指導の下に積極的に参加してもらいます。



Chiba Psychiatric Medical Center

精神科医療センター

病床数 150床



精神科医療センターは、日本初の精神科救急に特化した精神科単科病院で、現在では当院をモデルとした精神科救急病棟は全国に広がっています。24時間対応の精神科救急中核病院として、精神科救急情報センターも併設し、千葉県下の救急事例を差配しています。将来的には救急医療センターと統合し、(仮称)千葉県総合救急災害医療センターとして生まれ変わる予定です。対応する疾患は急性精神病状態の

患者さんが主ですが、児童から老年期まで幅広く診療し、精神保健指定医取得のための症例も豊富にあります。また専門医機構の基幹研修病院としても認定され、精神科専門医を取得することも可能で、毎年千葉県立病院群初期研修医を修了後、引き続き県立病院レジデント(後期研修医)として多くの先輩方が働いています。仕事はハードですが、やる気満々の方々を心よりお待ちしております。



Chiba Children's Hospital

こども病院

病床数 218床



こども病院は独立型の小児総合医療施設で、診療対象は原則として15歳までの患者さんです。内科系12科(精神科、集中治療科を含む)、外科系11科(小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、心臓血管外科、麻酔科、皮膚科、歯科)、周産期センター2科(新生児・未熟児科、産科)の診療科があります。当院では、小児科、小児外科、耳鼻

咽喉科の臨床研修ができます。小児科の研修は小児科専門医を基盤とする内科系診療科(感染症科、代謝科、内分泌科、血液・腫瘍科、腎臓科、アレルギー・膠原病科、循環器内科、神経内科、小児救急総合診療科)のいずれかに1か月単位で配属しておこないます。



Chiba Cerebral and Cardiovascular Center

循環器病センター

病床数 220床



循環器病センターは、循環器系(心臓、血管、脳神経)疾患のセンター病院ですが、地域医療を担う病院の使命も有しています。初期臨床研修では消化器・腎臓・透析・呼吸器・代謝を中心とした内科、一般外科・消化器外科の外科、各種経カテーテル心血管インターベンション(PCI、アブレーション、TAVIなど)を中心にほぼ全ての循環器疾患を診療する循環器科、脳卒中診療の

脳神経内科、脳腫瘍・てんかん治療の脳神経外科、心臓手術(先天性心疾患、冠動脈疾患、弁膜症)や血管手術(動脈瘤、末梢血管疾患)の心臓血管外科での研修を行います。外来診療・救急診療・入院診療・災害医療(DMATあり)を通して一般総合診療から高度専門診療までの充実した初期臨床研修を研修医の皆様にご提供できると確信しています。



Chiba Prefectural Sawara Hospital

佐原病院

病床数 199床



佐原病院は、千葉県北総地域の200床未満の在宅療養支援病院です。当院は外来患者を夜間も含め可能な限り受け入れることから、様々な症状の患者の対応を要するため、プライマリーケア実習に適した病院です。また、高齢者が多く、退院後も何らかの治療を必要とするため、急性期病棟に加え、地域包括ケア病棟、訪問看護ステーションを有し、最後まで治療に関わる地域包括ケアシステムの実践を

目指しています。上記達成のため、研修医として、①外来診療と当直が自立してできること、②救急措置(挿管、血管確保)、救急患者の検査、画像診断が自力でできること、③入院患者の管理を自立して行うことができること、④地域や家族を視野に入れた診療ができること、⑤訪問診療の経験などを到達目標としています。具体的な内容については、ホームページをご確認ください。



Chiba Rehabilitation Center

千葉リハビリテーションセンター

病床数 242床



千葉リハビリテーションセンターは小児から成人まで障害を持つ方を対象とした医療と福祉の機能を兼ね備えた総合リハビリテーションセンターです。成人部門では脳卒中・脳外傷・脊髄損傷・切断などの疾患に対しての回復期～生活期のリハビリテーション医療を経験できます。また高次脳機能障害に対するリハビリテーション医療、痙攣に対する治療、ニューロリハビリテーションなど当センターなら

では治療を学ぶことができます。小児部門では脳性麻痺や重度心身障害児に対するリハビリテーション医療と医療ケアなどの療育を経験できます。リハビリテーション医療は全ての診療科に必要な医療です。初期研修では本人の希望に合わせた研修プログラムを組んでいますので、将来どの診療科に進まれる先生方にも当センターでの研修をお勧めします。



後期研修について

初期研修修了後は、専門医取得のため多彩なカリキュラムを用意しています。レジデント医を対象とした海外研修制度もあり、専門医取得後は本人の希望に基づき県立病院の職員への道が用意されています。

レジデント募集診療科 (令和5年度予定) 新専門医制度に合わせて見直す可能性があります。

基本領域

| 募集科目 | 取得できる専門医 |
|------------|---------------------|
| 小児科 | 小児科専門医 |
| 精神科 | 精神科専門医(精神保健指定医も取得可) |
| 放射線科 | 放射線科専門医 |
| 救急科 | 救急科専門医 |
| リハビリテーション科 | リハビリテーション科専門医 |

サブスペシャリティ領域

| 募集科目 | 取得できる専門医 |
|---------------|------------------------|
| 内科領域 | |
| 消化器内科 | 消化器病専門医(消化器内視鏡専門医も取得可) |
| 消化器内視鏡 | 消化器内視鏡専門医 |
| 循環器内科 | 循環器専門医 |
| 血液内科 | 血液専門医 |
| 脳神経内科 | 脳神経内科専門医 |
| 腫瘍内科 | がん薬物療法専門医 |
| 外科領域 | |
| 心臓血管外科 | 心臓血管外科専門医 |
| 消化器外科 | 消化器外科専門医 |
| 小児外科 | 小児外科専門医 |
| 乳腺外科 | 乳腺専門医 |
| 放射線科領域 | |
| 放射線診断 | 放射線診断専門医 |
| 小児科領域 | |
| 小児内分泌科 | 内分泌代謝科(小児科)専門医 |
| 小児感染症科 | 感染症専門医 |
| 小児神経科 | 小児神経専門医 |
| 小児アレルギー・膠原病科 | アレルギー専門医(リウマチ専門医も取得可) |
| 小児循環器科 | 小児循環器専門医 |
| 小児血液・腫瘍科 | 小児血液・がん専門医 |
| 小児腎臓科 | 腎臓専門医 |
| 新生児・未熟児科 | 周産期専門医(新生児) |
| 小児代謝科 | 臨床遺伝専門医 |
| 小児集中治療科 | 集中治療専門医 |

〔参考〕連携施設 がん：がんセンター / 救急：救急医療センター / 精神：精神科医療センター / 子ども：こども病院 / 循環：循環器病センター / 佐原：佐原病院 / リハ：千葉リハビリテーションセンター

| 基本領域 | 基幹施設名(千葉県立病院群施設名) |
|------------|--|
| 内科 | 千葉大学(がん・循環・佐原)、市立海浜(がん)、東京女子医科大学(佐原)、船橋市立医療センター(がん)、成田赤十字(佐原)、君津中央(がん)、千葉労災(循環・がん)、国際医療福祉大学成田(救急・佐原) |
| 小児科 | 千葉大学(循環)、市立海浜(こども・循環)、東京女子医科大学(こども)、船橋市立医療センター(こども)、旭中央(こども)、君津中央(こども) |
| 精神科 | 精神(こども)、千葉大学(精神)、下総精神医療センター(こども) |
| 外科 | 千葉大学(がん・救急・こども・循環・佐原)、千葉医療センター(救急) |
| 整形外科 | 千葉大学(がん・救急・こども・佐原・リハ)、筑波大学(がん)、新潟大学(こども)、東京女子医科大学(こども)、東邦大学佐倉(こども)、東邦大学大森(こども)、東京医科歯科大学(こども) |
| 産婦人科 | 千葉大学(がん) |
| 眼科 | 千葉大学(こども) |
| 耳鼻咽喉科 | 千葉大学(がん・こども)、東邦大学佐倉(こども) |
| 泌尿器科 | 千葉大学(がん・こども)、東邦大学佐倉(がん・こども)、帝京大学(がん) |
| 脳神経外科 | 千葉大学(がん・救急・こども・循環)、旭中央(こども) |
| 放射線科 | 千葉大学(がん) |
| 麻酔科 | 千葉大学(がん・救急・こども・循環)、船橋市立医療センター(こども)、松戸市立(こども)、旭中央(救急・循環)、横浜市立大学(こども)、防衛医科大学校(こども) |
| 病理 | 千葉大学(がん・こども) |
| 臨床検査 | 千葉大学(がん)、日本大学(がん) |
| 救急科 | 千葉大学(救急)、東京ベイ・浦安市川(救急)、松戸市立(救急)、旭中央(救急・佐原)、亀田総合(救急)、君津中央(救急)、国際医療福祉大学成田(佐原) |
| 形成外科 | 千葉大学(がん・こども)、昭和大学(こども) |
| リハビリテーション科 | 千葉大学(リハ)、亀田総合(リハ)、横浜市立大学(リハ)、筑波大学(リハ)、昭和大学(リハ) |

レジデント医の採用状況

平成18年度から千葉県立病院群レジデント制度を整備し、令和5年4月までに181名のレジデント医を採用しています。

【近年の採用実績】平成29年度：5名(心臓血管外科1名、小児科3名、精神科1名)/平成30年度：7名(小児科2名、精神科3名、消化器内科1名、小児循環器科1名)/平成31年度：4名(小児科1名、放射線科1名、小児循環器科1名、小児神経科1名)/令和2年度：9名(精神科3名、救急科2名、消化器内科1名、心臓血管外科1名、小児内分泌科1名、小児血液・腫瘍科1名)/令和3年度：15名(精神科2名、リハビリテーション科3名、消化器内科1名、乳腺外科1名、小児内分泌科1名、小児感染症科1名、小児神経科2名、小児循環器科3名、新生児・未熟児科1名)令和4年度：17名(小児科4名、精神科3名、リハビリテーション科4名、消化器内科1名、小児内分泌科1名、小児感染症科1名、小児神経科1名、小児循環器科1名、小児血液・腫瘍科1名)令和5年度：12名(小児科1名、精神科4名、放射線科2名、救急科1名、小児アレルギー・膠原病科1名、小児循環器科3名)

レジデント医のための「海外研修制度」

平成21年度から、国内では経験できない医療技術などを海外において研修する機会を設けることにより、レジデント医の医療知識や経験を深め資質の向上を図るため、海外研修制度を設けています。この制度を利用することで、1か月程度の海外研修が可能(派遣中の給与や往復の旅費等は千葉県病院局で負担)となります。

【研修実績】ドイツ心臓病センター(ドイツ バード・ユーンハウゼン)、メルボルン・チルドレン・ホスピタル(オーストラリア ビクトリア州)、ハッケンサク大学医療センター(アメリカ ニュージャージー州)、延世大学医療センター(韓国 ソウル市)、コロラド大学デンバー校(アメリカ コロラド州)、マウントサイナイホスピタル(カナダ トロント)、トロント小児病院(カナダ トロント)

県立病院への採用とキャリアパス

専門医を取得後のレジデント医は、本人の希望も踏まえ、医師として採用する道もあります。採用後も、研修のための民間病院等(海外を含む)への派遣(一年以内、給与支給、旅費・滞在費は病院局が一部負担)、連携大学院での学位取得(診療と両立、給与支給、授業料は病院局負担)などの制度も充実しています。

千葉県立病院群レジデント医からの採用実績

【内訳】内科20名(消化器内科10名、循環器科5名、内分泌代謝内科1名、感染症科1名、神経内科1名、腫瘍血液内科2名)、外科8名(消化器外科5名、心臓血管外科3名)、小児科15名、精神科9名、麻酔科1名、放射線科5名、泌尿器科1名、救急科2名、家庭医2名(令和5年4月現在)

千葉県立病院群の紹介



先輩たちから

1. 「千葉県立病院群卒後臨床研修プログラム」で研修しようと思った理由を教えてください。

- ・専門病院から地域病院まで幅広くローテートすることができる。二年目の選択はもとより一年目の外病院も選択でき、かなり選択の幅が広い自由度の効くプログラム。地域医療で礼文島に行くことができる。
- ・千葉県内の様々な病院で研修出来るプログラムに魅力を感じました。また、見学をした時に看護師さんや技師さんがとても優しく、雰囲気が良かったのでここで働きたいと思いました。
- ・場所(東京に近い)、処遇(オンオフははっきり&給料高め)、礼文島に行ける
- ・寮も完備されているから

2. 研修医になって驚いたことはありますか？

- ・先輩医師の手技の上手さ
- ・薬の種類の多さ。一般名、商品名と薬の名前を覚えるだけで一苦労
- ・土日は当番制の病院が多く、土日祝は休みのことが多い(科によっては土曜の朝だけ行くこともあるが)。
- ・国試試験の知識の有用さ。知識だけでは臨床は出来ないが、やはり知識は必要だと思った。

3. 指導医・上級医の見習いたい部分や学んだことは？

- ・患者さんの気持ちに寄り添う姿勢や患者さんへの丁寧な対応、詳細なカルテ記載
- ・どんなに忙しくても、患者さんの細かいところまで覚えていて、ちょっとした変化にも気づくところ
- ・働くときは働く、休む時は休む
- ・仕事とプライベート(onとoff)をしっかりと切り替える
- ・自分も後輩ができたなら優しく接したい

